

犠牲陽極材 — 腐食抑制型 (鉄筋防錆型対応)

概要

「ガルバシールド CC」は、層状の亜鉛が特殊モルタルに包まれた形状のガルバシールド工法の犠牲陽極材です。塩害、中性化などによるコンクリート劣化時に電気化学的に鉄筋防錆、腐食抑制を行います。またガルバシールドは補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差によるマクロセル腐食を抑制します。

用途

■コンクリート構造物全般（断面修復部、保全部）

特長

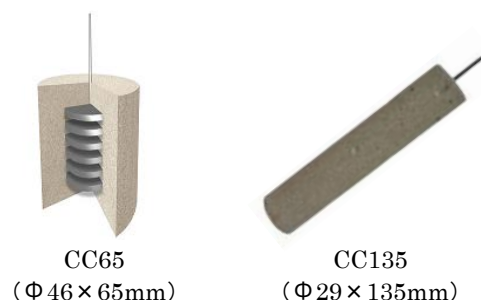
- 特許技術 第 3099830 号
- 防食性能
従来のガルバシールド XP より発生電流量が大きく防食性能が向上しました。
- マクロセル防止
補修部と未補修部に生じる鉄筋の電位差により加速度的に鉄筋腐食が進行するマクロセルを防止します。
- 経済性
ライフサイクルコストの低減を計れます。
- 多彩な用途
塩害、中性化に関わらず、RC、PC、ポストテンション構造物に適用できます。
- 施工性
迅速かつ簡単な設置です。
- メンテナンスフリー
外部電源&モニタリングは不要です。
- 耐用年数 約 15 年
耐用年数は腐食環境により前後することがあります。

仕様

■適用範囲

防食レベル		定義	CC
小 ↓	鉄筋防錆 (マクロセル)	新しい腐食の発生を防ぐ	○
	腐食抑制 (保全部)	進行中の腐食を抑制する	○
大	電気防食	進行中の腐食を止める	×

■外観



■防食性能

XP < CC < XP2 < XP4 < DAS

■設置間隔表

「ガルバシールド CC」の設置間隔は、対象部の鉄筋表面積とコンクリート表面積の割合により変化します。
※有効半径は、設置間隔/1.5 です。
※塩分濃度 > 0.8% (セメント比) はお問い合わせ下さい。

< 断面修復部への適用 (鉄筋防錆、マクロセル) >

1m ² 当りの鉄筋比率	CC 最大設置間隔
< 0.3	750mm
0.31-0.6	700mm
0.61-0.9	650mm
0.91-1.2	550mm

< 保全部への適用 (コア削孔) >

< 0.2	700mm
0.21-0.4	600mm
0.41-0.54	500mm
0.55-0.67	450mm
0.68-0.80	400mm
0.81-0.94	380mm
0.95-1.07	355mm
1.08-1.2	335mm

■ガルバシールド工法関連材料

- ・レンダロックモルタルまたはグラウト
- ・ナイトボンド AR (プライマー)
- ・ナイトボンド RC (仕上げ材)

※ 断面修復には、比抵抗及びガルバシールド防食性能 (有効範囲) 確認済みのレンダロックモルタルもしくはレンダロックグラウトで行います。

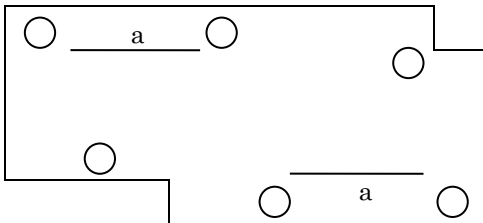
施工手順

① 断面修復部へ適用（鉄筋防錆、マクロセル）

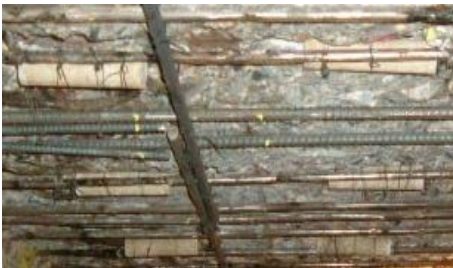
■ 施工フロー



■ 設置例

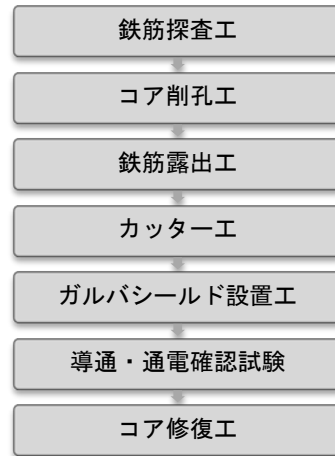


- : ガルバシールド CC135
- a : 最大設置間隔

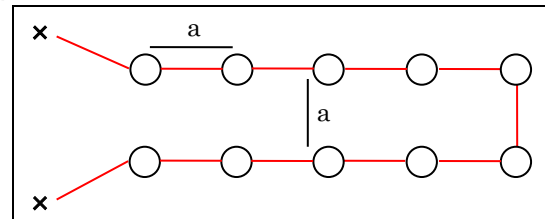


② 保全部（鉄筋腐食部）へ適用（腐食抑制）

■ 施工フロー



■ 設置例



- : ガルバシールド CC135 もしくは CC65
 - a : 最大設置間隔
 - × : 鉄筋結束部
 - : リード線
- < 削孔サイズ >
- CC135 : 32mm（直径）× 165mm（長さ）
 - CC65 : 50mm（直径）× 95mm（長さ）



荷姿及び保管

20 個／箱

未開封、乾燥した場所に保管して 12 ヶ月。

安全衛生上の注意事項

- ・ 目や皮膚に付着しないようにゴーグル、ゴム手袋等を着用して下さい。
- ・ 目に入ったり、皮膚に付着した場合には直ちに清浄な水、石鹼等で洗浄して下さい。

CREDESCENCE

クリディエンス株式会社

ベクター日本総代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3-3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crdc.co.jp> E-mail: crdc@crdc.co.jp



製造元 :
Vector Corrosion Technologies

改定日：2011 年 1 月

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は